



5 インストール 完了後の作業

管理ユーティリティのインストール方法、ネットワーク上のPCのセットアップ方法などインストールを完了した後に行う作業について説明しています。これらの作業は運用中にも確認が必要となる場合があります。

管理ユーティリティのインストール

添付の「EXPRESSBUILDER」DVDには、Express5800/ftサーバ監視用の「ESMPRO/ServerAgent」、およびExpress5800シリーズ管理用の「ESMPRO/ServerManager」などが収録されています。これらの管理ユーティリティをExpress5800/ftサーバ、またはExpress5800/ftサーバを管理するコンピュータ(管理PC)にインストール・セットアップしてください。

ESMPRO/ServerAgent

ESMPRO/ServerAgentは、Express5800/ftサーバのハードウェア、ソフトウェアの稼動状況、構成情報、障害発生状況を監視するためのユーティリティです。何らかの異常を検出するとESMPRO/ServerManagerをインストールしたコンピュータへ通報を行います。

ESMPRO/ServerAgentは、本装置のハードディスクドライブに出荷時にインストール済みです。また、Express5800/ftサーバが提供するソフトウェアのインストールを行うことでインストールされます。



Express5800/ftサーバを連続稼働させるには必ず必要であるためインストールされていることを確認してください。

インストール手順

以下の章を参照してください。

「Step B-6 Express5800/ftサーバが提供するソフトウェアのインストール」

「Step C-4 ESMPRO/ServerAgent向けのネットワークの設定」

アンインストール手順

1. root権限のあるユーザーでログインする。
2. 以下のコマンドを入力してパッケージをアンインストールする。

```
# rpm -e Esmpro-Express  
# rpm -e Esmpro-ft  
# rpm -e Esmpro-type1  
# rpm -e Esmpro-common
```

3. OSを再起動する。

```
# reboot
```

ESMPRO/ServerAgentのセットアップ

次の説明に従ってESMPRO/ServerAgentをセットアップします。

監視機能

インストールされたESMPRO/ServerAgentの各種設定は出荷時の設定のままです。コントロールパネルで、使用する環境に合わせて設定してください。

1. root権限のあるユーザーでログインする。
2. ESMPRO/ServerAgentがインストールされているディレクトリに移動する。

```
# cd /opt/nec/esmpro_sa
```

3. コントロールパネルが格納されているディレクトリに移動する。

```
# cd bin
```

4. コントロールパネルを起動する。

```
# ./ESMagntconf
```

コントロールパネルの画面が表示されます。



通報設定

ESMPRO/ServerAgentからESMPRO/ServerManagerへ通報を行うには、通報手段の設定が必要です。

マネージャ通報(SNMP)の設定

1. root権限のあるユーザーでログインする。
2. ESMPRO/ServerAgentがインストールされているディレクトリに移動する。

```
# cd /opt/nec/esmpro_sa
```

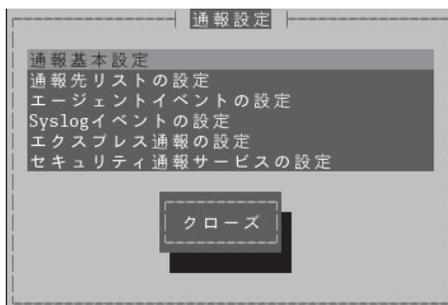
3. 通報設定のツールが格納されているディレクトリに移動する。

```
# cd bin
```

4. 通報設定のツールを起動する。

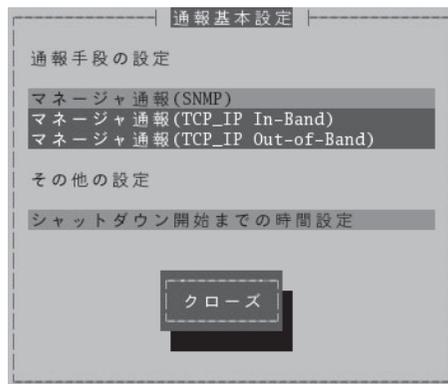
```
# ./ESMamsadm
```

[通報設定]の画面が表示されます。

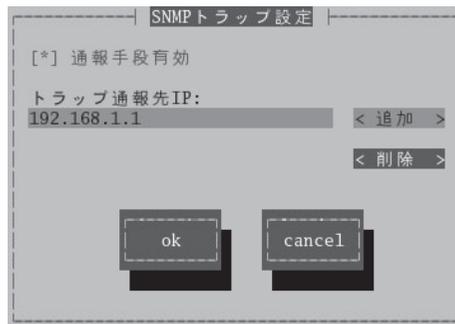


5. [通報基本設定]を選択する。

[通報基本設定]の画面が表示されます。

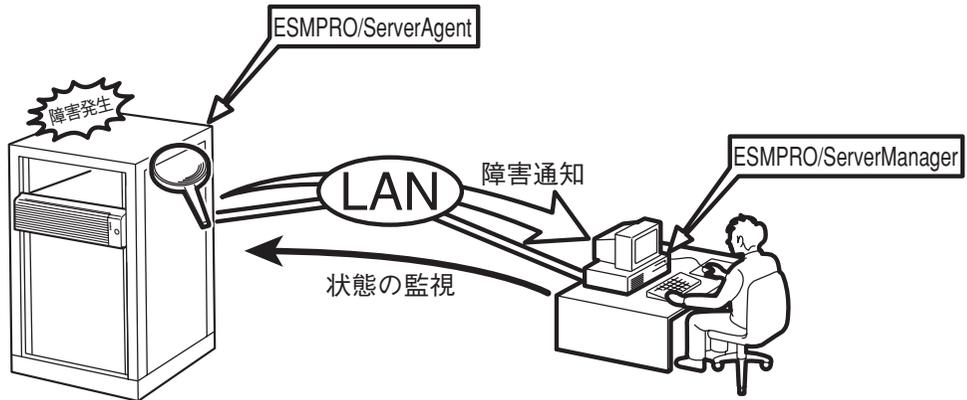


6. [マネージャ通報(SNMP)]を選択する。
[SNMPトラップ設定]の画面が開きます。
7. [通報先手段]を有効にする。
スペースキーで設定します。チェック時は有効になります。アンチェック時は無効になります。
8. [追加]ボタンを実行して、[トラップ通報先IP]を設定する。
ESMPRO/ServerManagerがインストールされている装置のIPアドレスを設定します。
9. ツールを終了する。
ESMPRO/ServerManagerにマネージャ通報(SNMP)が行われるようになります。



ESMPRO/ServerManager

Express5800/ftサーバにインストールされたESMPRO/ServerAgentと連携して、Express5800/ftサーバの状態の監視や障害通知の受信をします。



また、ESMPRO/ServerManagerはExpress5800/ftサーバ内の故障したモジュールを交換する際に本体からの論理的なモジュールの切り離しや交換後の論理的な組み込みを操作することができます。

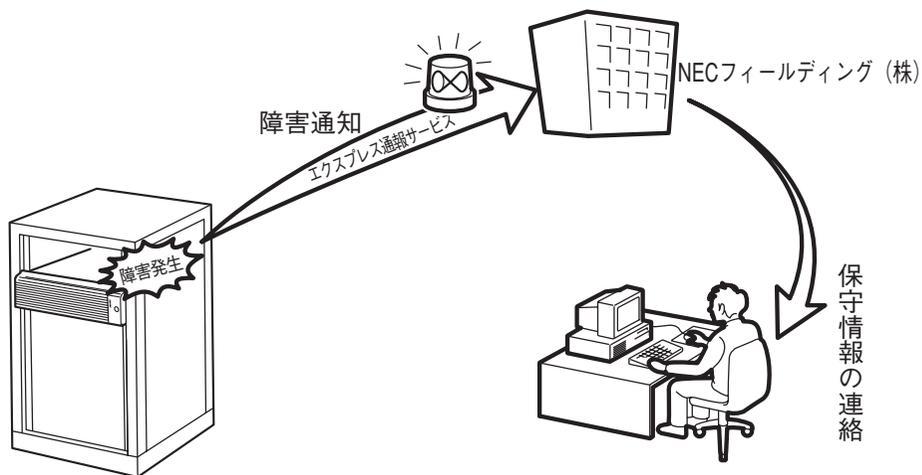
ESMPRO/ServerManagerのインストール方法や運用上の注意事項については別冊のユーザーズガイドを参照してください。

エクスプレス通報サービス

エクスプレス通報サービスは、お使いになるExpress5800/ftサーバを保守サービス会社が随時その状態を監視し、何らかの異常を検出したときにお客様に通報するサービスです。

ご利用には別途、保守契約が必要です。

ヒント



エクスプレス通報サービスの契約を結んでいる場合は、別冊のユーザーズガイドを参照して、サービスを受けるためのセットアップをしてください。

また、エクスプレス通報サービスのインストールに関しては、インストレーションガイドを参照してください。

カーネルのバージョン確認方法

フォールト・トレラントを実現しているソフトウェアの中核であるカーネルのバージョンを確認する方法について説明します。なお、Express5800/ftサーバに装置を増設する場合など、動作中のカーネルのバージョンを確認する必要がある場合に実施していただくことになります。

下記の手順に従ってバージョンを確認してください。

1. 以下コマンドを実行する。

```
# uname -a
```

動作中のカーネルのバージョンが表示されます。

以上でバージョンの確認は終了です。

ft Server Control Softwareのバージョン確認方法

フォールト・トレラントを実現している各種ソフトウェアの集合であるft Server Control Softwareのバージョンを確認する方法について説明します。なお、Express5800/ftサーバに装置を増設する場合など、動作中のft Server Control Softwareのバージョンを確認する必要がある場合に実施していただくことになります。

下記の手順に従ってバージョンを確認してください。

1. 以下コマンドを実行する。

```
# rpm -q lsb-ft-eula_display
```

動作中のft Server Control Softwareのバージョンが表示されます。

以上でバージョンの確認は終了です。

